

みんなでまちづくり推進会議（平成28年度～平成29年度）

「若い世代の行政参加」での意見

<平成28年度①>H28.4.11

大学生を交えたワールドカフェ（毎熊アドバイザー※島根大学生14名）

（主な意見）

- ・意見が反映されない。政治家にいいイメージがない。
- ・行政が遠い存在だと感じている。自分の生活とどう関わっているかわからない、身近に接する機会がない。
- ・市報や議会報など紙ベースの発刊物があるが紙媒体になじみが薄い。SNS等で発信してほしい。
- ・小・中・高校と決め事に参加する機会を与えてもらえていないから。
- ・時間がない。（学生はアルバイトや遊び、20～30代は仕事と子育てに時間をとられる。）
- ・いろいろな世代の人が集まり、行政や政治などいろいろな話をする場を用意する。
- ・祭りなど楽しいイベントがともにあり、参加することに楽しみを感じてもらえるようにしていく。
- ・若者と市長や議員が触れ合う・語り合う機会を創る（難しいテーマでなく、平易なテーマなどで）
- ・学校でワールドカフェのような方式で気楽に行政参加する場を設ける。

<平成28年度②>H28.11.10

委員によるフリートーク

（主な意見）

- ・学校を巻き込むことが効果的だが、事前準備に手間がかかること、先生が非常に多忙である。
- ・小学生の議場体験、学生と市長の子ども議会の取組など、学生のうちから行政参加を意識させる取組が必要。
- ・学校教育が重要。若いうちから行政や議会を身近に感じてもらうようにしていくことが必要。
- ・市税や観光などのテーマで市職員が学校へ出前授業のようなものをしてもいいのではないか。
- ・若い世代は結婚して子どもができて初めて行政支援や行政参加について意識するようになるので結婚に向けた取組も有効ではないか。

## <参考>

OH28.10.31

「境港市議会と市内高校生との懇談会」開催

市議会議員と境高校、境港総合技術高校の高校生16名とのワールドカフェ方式による懇談会（協力：毎熊准教授、ゼミ生13名）

（主な意見）

- ・議員さんと直接話すことで、議員の仕事や政治について身近に感じられた。
- ・若者の意見を聴く機会をもっと増やして、若者の意見を取り入れてほしい。
- ・テレビで放送されるような婚活イベントを実施してほしい。
- ・境港の良さをどんどんPRしてほしい。

OH28.12.14

「境港市民交流センター（仮称）基本設計 高校生市民ワークショップ」開催

境高校、境港総合技術高校の高校生13名参加

（主な意見）

- ・大人達だけではなく、高校生（自分）の意見を言う場があってよかった。
- ・高校生だけでなく、中学生や小学生の意見を取り入れるのもよい。
- ・ワークショップに参加することで、公共施設について関心が持てた。今後は、境港の施設を利用していきたい。
- ・施設の完成が楽しみでもあり、自分たちの出した案が採用されるのかもしれないという楽しみもある。

OH29.9.4

「まちづくり若者委員会」開催

市長と若者（20代、30代）10名との意見交換会

テーマ：「観光振興」

（主な意見）

- ・夜の賑わい創出（体験型居酒屋、屋形船、ビアホールなど夜を楽しむ場）が必要。
- ・海岸通りや海辺の活性化（朝市や浜辺のロケーションを活用した“朝活”など、写真映えするイベントや物を創出し、インスタグラマーを呼んでPRするなど）が必要。
- ・インバウンド対策（外国人観光客に対応するため、外国語対応が可能な人材確保など）が必要。
- ・「名物（水産物）」、「名所（水木しげるロード）」はもちろんのこと、観光には「ショッピングの場」も必要。
- ・空き家が増えている中、古民家をリノベーションして宿泊施設として活用すれば、需要がある。（民家に宿泊した観光客はたくさんいる。）

## OH29.1 0.9

「境港市議会と若手農業者との懇談会」開催

市議会議員と若手農業者9名との懇談会

(主な意見)

- ・農業は休みがないなど、いろいろなイメージがあるが、やり方次第では利益を上げることもでき、胸を張れる職業だと思っている。
- ・素晴らしい技術と経営を共有し合い、次世代につなげていきたい。
- ・子ども達が農業体験を通じて、「農業っていいな。農業をやってみようかな。」と思ってくれるよう頑張りたい。